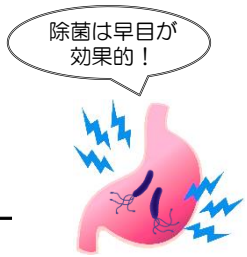
被保険者・被扶養者の皆様へ

令和6年８月
大阪紙商健康保険組合

# ピロリ菌検査のご案内




## ― 今まで一度も受けていない方、是非ご受診ください！―

当健康保険組合では、今年度も、ご家庭で簡単にできる『ピロリ菌検査』を斡旋いたします。
胃がんを引き起こすピロリ菌感染の有無を知り、陽性の場合は除菌治療をすることで胃がんを予防しましょう！
ぜひこの機会にご受診ください。

記

| | |
|---|---|
| 1.検査対象者 | 本人・家族で希望される方<br>＊本検査で、過去に「陰性」の結果が出た方は、原則申し込む必要はありません。<br>ただし、自覚症状や気になる症状がある方は医療機関を受診されることをお勧めします。 |
| 2.検査費用 | 3,850円（税込） |
| 3.申込方法 | 会社のご担当者様へお申し込みください（家族も同様）。<br>会社→健保到着が**9月17日必着**ですので、間に合うようにご担当者様へお申し込みください。 |
| 4.器具の送付 | 10月初旬以降に、ご自宅に検査機関から検査費用の振込用紙が届きます。<br>その振込用紙にてコンビニまたは郵便局でお振込みください。<br>(振込手数料は個人負担です)<br>採取器具は入金確認後、ご自宅に郵送されます。 |
| 5.検体の提出 | 説明書をよく読んで採取していただき、問診票と採取した器具を同封の封筒に入れて、検査機関に郵送してください。（切手不要） |
| 6.検体締切日 | **令和6年11月30日(土)　消印有効** |
| 7.検査結果 | 検体到着後約2週間でご自宅に郵送されます。 |
| 8.検査機関<br>および<br>問合せ先 | 〒604-0827　京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550　メスプビル内<br>メスプ細胞検査研究所（京都府登録衛生検査所第38号）<br>ＴＥＬ（０７５）２３１－２２３０ |
| 9.注意事項 | 採取器具を受取後提出されなくても、検査費用の返金はできませんのでご了承ください。 |

## お申込みからの流れ

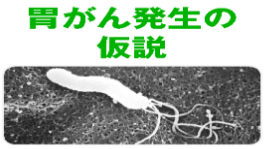
申込む（9月17日締切）
→ 振込用紙到着後、費用の支払い
→ 自宅に採取器具が届く
→ 採取して検査機関へ送る（11月30日締切）
→ 自宅に結果が届く（約2週間後）
→ **所見なし**　今後も定期健診
→ **所見あり**　病院へ（紹介状の作成 相談受付）

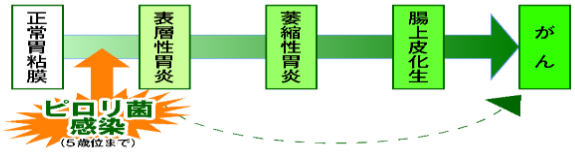
＜個人情報の取り扱いについて＞
受診される方の個人情報は、本検査を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、第三者に提供・開示することはありません。

# 必ず受けましょう！ ピロリ菌検査

ー 自宅で、ご都合のいい時にできます ー

## ピロリ菌とは？



胃に住む細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。
ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃･十二指腸潰瘍や胃がんをひきおこすことが解明されています。
大人になって感染することはほとんどありません。

## 検査結果が「陽性」だったら？

検査結果が「陽性」だからと言って、胃潰瘍や十二指腸潰瘍等が必ず発症するわけではありません。
しかし、ピロリ菌除菌の治療を行うことで、潰瘍の再発防止、胃がん発症のリスクが低下するなど、胃の状態改善が期待できます。
胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃炎と診断された場合、ピロリ菌の除菌には健康保険が適用されます。
（その際には、内視鏡検査が必須です。）

検査は簡単
一日の便を採取するだけ

ピロリ菌採取器具

## ピロリ菌検査 受けないまま放置していませんか？

### こんな人はぜひ受診を

- □ 胃の調子が何となく悪い
- □ 家族に胃がん・胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる
- □ 自分・又は家族がピロリ菌に感染している（感染していた）
- □ 最近、みぞおち辺りに痛みを感じたことがある
- □ 食欲が落ちた
- □ 胃のもたれ感が強くなった気がする
- □ 吐き気を感じることがある
- □ 嗜好品の変化を自覚している
- □ 濃い味を好む
- □ 野菜の少ない食生活をしている
- □ 喫煙者である（であった）

**結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう**

検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介しています。
**紹介状の作成（無料）**も行っていますので、お気軽に検査機関にお問い合わせください。

検査機関：メスプ細胞検査研究所　TEL （075）231-2230　HP　http://www.msp-kyoto.co.jp/

【注意事項】
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。